

発委第 9 号

令和3年9月28日

日出町議会

議長 池 田 淳 子 殿

提出者 総務産業常任委員会
委員長 豊 岡 健 太

コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書について

上記の議案を日出町議会会議規則第14条の規定により別紙のとおり提出します。

理 由

国に対し、過剰在庫の買入れによる米の需給改善と米価下落対策、生活困難者等への食糧支援、外国産米の輸入調整を求めるため。

コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大による需要の消失から、2020年産米の過大な流通在庫が生まれました。しかし、政府が有効な手立てをとらなかったため、2020年産米の市場価格は暴落しました。政府は36万トンの上乗せ減反を打ち出しましたが、とても受入れられる数量ではなく、感染拡大によるさらなる消費減少と相まって、2021年産米の昨年以上の米価下落が危惧されています。

コロナ禍の需要減少による過剰在庫分は、国が責任を持って市場隔離すべきであり、その責任を生産者・流通業者に押しつけることは許されません。政府の責任による緊急買入れなどの特別な隔離対策が絶対に必要です。

同時に、国内需給には必要がないミニマムアクセス輸入米は、毎年77万トンも輸入されています。国内消費量はミニマムアクセス米輸入開始以来の26年間で4分の3に減少したにも関わらず、一切見直されていません。せめてバター・脱脂粉乳並みに不要なミニマムアクセス米の輸入数量を調整するなど、国内産米優先の米政策に転換することが必要です。

コロナ禍の中、全国各地で取り組まれている食料支援には、収入減で1日1食に切り詰めるなど、食べたくても食べられない方が多数訪れ、米をはじめとする食料配布が歓迎されています。行き場を失った農産物を政府の責任で買い取り、困窮する国民に提供することが今こそ求められています。

コロナ禍という、かつて経験したことのない危機的事態の中で、農業者の経営と地域経済を守るためには、従来の政策的枠組みにとらわれない対策が求められます。以上の趣旨から、次の事項を実現するよう強く求めます。

- 1 コロナ禍の需要減少による過剰在庫を政府が緊急に買入れ、米の需給環境を改善し、米価下落に歯止めをかけること。
- 2 政府が買い上げた米をコロナ禍などによる生活困難者・学生などへの食料支援で活用すること。
- 3 国内消費に必要な外国産米（ミニマムアクセス米）の輸入を中止するか、少なくとも当面、国産米の需給状況に応じた輸入数量調整を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和3年9月28日

大分県速見郡日出町議会

衆議院議長	大	島	理	森	殿
参議院議長	山	東	昭	子	殿
内閣総理大臣	菅		義	偉	殿
財務大臣	麻	生	太	郎	殿
外務大臣	茂	木	敏	充	殿
農林水産大臣	野	上	浩	太郎	殿